

埼玉県サイクリング協会 〒336 浦和市岸町3-17-42 埼玉県青少年会館内
TEL/FAX048-824-2711 SCANET048-824-2710

セ ン チ ュ リ ー ラ ン 終 了

第12回センチュリーラン埼玉は6月8日(日)吉見運動公園を主会場として開催された。

梅雨入り前の最後の晴天の日曜日と思われるような素晴らしい天気となり、267名(エントリー300名)が参加した。受付・車検を済ませた参加者は開会式にのみ、渡邊理事長からセンチュリーランはすでに11回開催されているが、今まで大した事故もなく実施できたのは役員はもとより、参加者の協力なくしてはできないこと。さらに今日はかなり暑くなるので自分の体力を考えて無理のない走行をする旨の挨拶があった。続いて矢作実施責任者から走行上の諸注意がおこなわれた。

7時33分からセンチュリーが1分間隔10人、7時43分からはハーフセンチュリーランが2分間隔10人がスタートし、8時23分に全員スタートが終了した。

スタートが終わりホットしている矢先事故の一報が入り、本部はあわただしい雰囲気になられたが、幸い大事にはいならずほっとする一時もあった。

10時37分にはハーフのゴール者が現れ、役員をあわてさせた。途切れ途切れのゴールが11時10分ごろまであったが、その後はゴール者が続いた。

今回、認定証発行を筆書きにておこなったが、発行までに多少時間がかかり、参加者の皆さまには迷惑をおかけしたことをお詫びします。

例年の通り大塚製薬からのポカリ、ショグメイトの協賛に加え協会からの各チェックポイントでのバナナや飲料水等の補給の他、役員のお手伝いがあったからこそ楽しいチャレンジができたことだと思う。役員に対する労いの気持ちをもって欲しかったと思う一幕もあった。

役員のおさまご苦労さまでした。参加者の皆さまお疲れさまでした。

センチュリーラン参考記録

〔センチュリー:160km〕

1	関根洋行	4:40:20
2	関根宣行	4:54:17
3	奈良浩良	5:19:56
4	川辺治彦	5:28:40
5	杉本勝彦	5:29:54
6	安田哲夫	5:32:02
7	大熊良一	5:34:24
8	高岡明弘	5:34:53
9	伊藤茂	5:34:59
10	石倉敏和	5:37:05

〔ハーフセンチュリー:86km〕

1	西田吉孝	2:45:47
2	野口泰三	2:46:04
3	前田雄亮	2:47:58
4	富田雄隆	2:48:15
5	増井隆正	2:48:41
6	丸本良一	2:49:29
7	戸井康之	2:53:51
8	綾川久男	2:56:27
9	小野幸宏	2:58:17
10	佐久間昭	2:58:59

インフォメーション

初心者サイクリングのお知らせ

彩のくに再発見：PART = 彩湖めぐり

期日 平成9年7月13日(日)

集合 午前9時 県青少年会館

コース 浦和 - 戸田 - 彩湖

申込 7月12日(日)までに事務局

クラブラリー案内

期日 平成9年8月9日(土)～10日(日)

場所 六日町ミナミスキー場山小屋

集合 9日、午後4時 現地

参加費 5000円

主管 グリーンベルCC

申込 7月31日までに協会事務局

その他 参加者には詳細郵送します。

SCAラリー案内

期日 平成9年9月7日(日)

集合 午前10時 秩父ミュージックパーク県営駐車場

コース 秩父札所めぐり(秩父コースマップ)

参加費 1000円

主管 リーダーズクラブ

申込 8月30日までに協会事務局

インターナショナルチャレンジサイクリング<ツール・ド・秩父>

第9回インターナショナルチャレンジサイクリングが10月11日(土)～12日(日)開催されます。前回参加者には実行委員会から要項が発送されます。会員で要項希望の方は協会事務局まで連絡下さい。会員外の方は返信用封筒を同封のうえ申込下さい。

*いずれも申込等で事務局不在のときは留守電かFAXを利用して下さい。

協会会員協力サイクルショップ案内

5月号で掲載した協会会員協力店の件につきショップから申し出がありました件につき協会にて検討した結果下記のショップを協力店として登録しました。

これらのショップで会員証を提示することにより、割引やサイクリングに関する相談のサービスを受けることができます。

また、秩父サイクリングコースマップ販売や協会入会案内等などのパンフが置いてあります。ショップにより多少の違いはありますので直接ショップまでご連絡下さい。

浦和地区

ベロ・ウッディベル 浦和市西堀 9-5-12 TEL 048-854-4517

鈴木光則 1級サイクリングインストラクター
 川口地区
 芝川サイクル 川口市栄町 1-14-11 TEL 048-251-5365
 矢作知久 1級サイクリングインストラクター
 越谷地区
 ヒビヤサイクル 越谷市赤山町 6-10-26 TEL 0489-62-4638
 日比谷達夫 1級サイクリングインストラクター
 所沢地区
 サイクルショップタニ 所沢市緑町 4-5-18 TEL 0492-61-3287
 谷 嘉章 1級サイクリングインストラクター
 熊谷地区
 田島輪業 熊谷市星川 2-72 TEL 0485-21-3072
 田島稔弘 2級サイクリングインストラクター

< 会員だより >

協会創立40周年おめでとうございます。

ツール・ド・秩父の影響で秩父路では最近多くのサイクリストを見かけるようになりました。私も2回目大会から参加させていただいておりますが、秩父のイベントの一つに完全に定着しております。日頃のサイクリング協会の活動に感謝しております。

数年前になりますがハム（アマチュア無線）とサイクリストの記事が載っていましたが、私もハムとサイクリングをこよなく愛する者の一人です。サイクリングにはいつも小型のハンディー機を持って出かけます。最近は携帯電話が流行りですので、携帯電話持参で出かける方もおられるかも知れませんね。

携帯電話とハムのハンディー機（どちらも見た目には区別が付きませんが）の違いの一つは、地元の人とおしゃべりができる点にあると思います。それにいくら話しても携帯電話のように料金がかからないのもいい点だと思います。

ハンディー機だと余り遠くに電波が飛んでくれないのではと心配される方もおられると思いますが、峠や山の上からは障害物がないので電波は、驚くほど遠く届きます。またレピーターと呼ばれる無人の中継局もあり、微弱電波でも遠方の人と交信することができます。

現在秩父には2つのレピーター局があり、周波数は430MHZ帯が439.90, 1200MHZ帯が1292.12の周波数になります。これらのレピーター局の利用者は大変おおいのでここでの長話はできませんが、秩父郡市のほとんどをカバーしてくれます。

秩父路ではこれから素晴らしい季節になります。サイクリングにはハンディー機を持って出かけられて下さい。どこかでお会いできることを楽しみにしています。

当局のコールサインはJ P 1 M X Oです。 長瀬町 塩畑 稔氏（抜粋）

{ 秩父サイクリングコース完走者 }

10コース完走おめでとうございます

山中真一さん 秩父市大野原 会員 no.6438

<コメント> 第7回ツルト・秩父の会場で「秩父サイクリングコースマップ」を購入して3年がかりで完走でき感謝しております。これらのコースは秩父のすばら自然を満喫でき、心身のリフレッシュ効果大の大変よいコースであると感じました現在、仲間呼びかけサイクリングを共に楽しみにしています。次の目標は20回完走です。

新井信弘さん 横瀬町横瀬

事務局だより

97年度の登録をされていない方、至急手続きをお取りください。

秩父サイクリングコースマップの頒布を行っています。頒価1000円、郵送を希望される方は1200円です。マップは秩父のサイクリング10コースが掲載され、1コース走るごとに押印をして協会に郵送します。10コース完走すると、素晴らしい記念品が送られます。

協会創立40周年を記念してネクタイをつくりました。なかなかしゃれたものです希望者に頒価1500円お分けします。郵送を希望される方は1700円です。

マップ・ネクタイ等の払込は書留/小為替/郵便振替のいずれかでお願いします。

郵便振替 00170-8-56228 埼玉県サイクリング協会

この度試験的ですが協会ホームページを作りました。今は理事長の職場のサーバーにありますので、これ以上のグレードアップは不可能ですが、いずれプロバイダーと契約等をして充実していくつもりです。その節はぜひ宜しくお願いします。

<http://acropolis.t.u-tokyo.ac.jp/~watanabe/sca>

S C A ニュースは J C A ニュースとは重複しないように編集しています。

D O S 系のパソコン(286以上のCPU搭載機)で不要になったものがありましたらぜひ協会へご寄付下さい。

《編集後記》

会員からの励ましの手紙や近況報告はボランティアをやっていて良かったと感じる一方、協会の行き届かない処を厳しく指摘されたり、無言電話を耳にする度に深く心を傷つけられる。自転車好きな人が集まり多くの人にサイクリングの楽しさを味わってもらいたいと環境づくりや人の輪(和)づくりをモットーに頑張っているのに、自分勝手なサイクリストはなにも組織に入る必要はないと思うのだが。

昭和57年からスタートしたニュースも通巻150号を迎えた。何度か交代をお願いしたが、後がまがみつからないうちに15年も経過してしまった。良いニュースをと思いながら一度として満足いくニュースは書けなかった。とにかく協会のサービスの一環として始めたことだから続けなければならないことだろうと思って頑張っている。150号の発刊を祝って静かに杯を捧げよう。